

平成29年度 厚生常任委員会管外視察の概要

■視察期間 平成29年10月17日（火）～19日（木）

■視察者 厚生常任委員（4名）
田代国広（委員長）、緒方勇二（副委員長）、楠本千秋、高島和男

■視察先 ①共働学舎新得農場（北海道上川郡新得町）
②九神ファームめむろ（北海道河西郡芽室町）
③北海道議会（北海道札幌市）
④ノテ福社会（北海道札幌市）

■視察目的 障がいの特性等に応じた多様な働き方を可能とする地域社会の体制づくりを目指して、農福連携による就労支援において特徴的な取り組みを行うとともに、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを進める地域包括ケアシステムにおいて、地域主体で先進的な取り組みを行っている北海道の現地調査を行うことで、今後の委員会審議に資するため。

■視察の概要

①共働学舎新得農場

共働学舎新得農場では、心や体に悩みを抱え、社会に適応が難しい方々約60人が、共に生活しながら酪農業に携わり、特にチーズは高い評価を得て、収益を上げていると説明がありました。

農場におけるこれまでの取り組みの成果や課題について、意見交換を行うとともに、農場内の各施設の見学を行いました。



②九神ファームめむろ

当事業所では、障がい者の作業を農場での生産活動とじゃがいもの皮むきなどの一次加工を組み合わせることで一年中仕事を確保し、さらに企業との連携により安定した収益を上げていることや、障がい者がここでの作業により、ステップアップしている状況について説明がありました。

作業の様子を見学するとともに、町職員や支援員と意見交換を行いました。



③北海道議会

担当課から、北海道における高齢化社会の実情や道内市町村での地域包括ケアシステムの推進事例及び農福連携にかかる調査内容の概要説明がありました。

さらに、地域包括ケアシステムを進める上での課題や農福連携に取り組んできた成果等について意見交換を行いました。



④ノテ福祉会

当法人が実施する24時間定期巡回・随時対応サービスやアセスメントステイにより、中重度の要介護状態にある高齢者でも在宅での生活を継続している状況について説明がありました。

人材の確保など課題について意見交換を行うとともに、施設内の見学を行いました。

